

令和 7 年度 乳がん検診精度管理調査結果（検診機関・集団）

1. 調査の目的

がん検診においては、精度管理が適切に行われなければ効果は得られないと考えられています。その点から、がん検診の精度管理はきわめて重要です。この調査は、宮崎県生活習慣病検診管理指導協議会乳がん部会が、当県で乳がん検診（国の指針に基づいたもののみ。以下同じ。）を行っている検診機関に対して、精度管理が適切に行われているかどうかを知る目的で行ったものです。なお、職域検診や人間ドックはこの調査の対象外です。

2. 調査の対象

この調査の対象は、令和7年度に当県の市町村から委託を受けて、乳がん検診（集団検診）を実施した検診機関を対象としています。

3. 調査の種類

- (1) がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査（令和 7 年度実施体制、令和 5 年度精度管理指標把握）
- (2) 精度管理指標数値（プロセス指標）の調査（令和5年度実施分）

4. 調査の流れ

	(1)チェックリスト遵守状況調査	(2)プロセス指標調査
調査目的	技術・体制指標の把握	プロセス指標調査の把握
実施時期	令和7年10月	令和7年10月
対象年度 調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和7年度実施分 ・がん検診実施体制整備に関する調査 ● 令和5年度実施分 ・精度管理指標把握に関する調査 	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和5年度実施分 ・要精検率 ・精検受診率 ・精検未受診率 ・精検未把握率 ・がん発見率 ・陽性反応適中度
結果	資料2-1	資料2-2
検診機関への通知	評価基準(B)を満たしていない検診機関に対し、その理由と改善策について報告を依頼	評価基準(精検受診率90%以上)を満たしていない検診機関に対し、その理由と改善策について報告を依頼
改善策	該当なし	資料2-2
結果の公表	令和8年3月予定	令和8年3月予定

5. 調査の結果について

(1) がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査(令和7年度実施体制、令和5年度精度管理指標把握)

① 調査概要

調査の実施主体	宮崎県生活習慣病検診管理指導協議会
調査内容	国立がん研究センターが示す「事業評価のためのチェックリスト(令和6年3月改定版)」の実施状況として、以下の2つを調査。 調査1: 令和7年度のがん検診実施体制 調査2: 令和5年度の精度管理指標把握状況
回答方法	各設問に対し、「○」「×」「△」のいずれかを選択する。(△は、今後実施予定だが回答時点ではまだ時期が来ていない場合)
評価方法	・昨年度同調査と比較し、調査項目が1項目増えている。 ・評価基準は、昨年度と変更なし。(資料2-3)

② 調査結果

- ・ 資料 2-1 に調査結果を検診機関別に示しております。
- ・ 「B」以下の検診機関はありませんでした。
- ・ 昨年度評価もすべての検診機関が[A]評価であり、変化はありませんでした。

③ 未実施項目の理由とその改善に向けた取り組みについて: 評価基準「B」以下

- ・ 該当する検診機関はありませんでした。

(2) 精度管理指標数値(プロセス指標)の調査(令和5年度実施分)

① 調査概要

調査の実施主体	宮崎県生活習慣病検診管理指導協議会
調査内容	令和5年度実施分 ・対象年齢は、40-74歳 ・要精検率、精検受診率、精検未受診率、精検未把握率、がん発見率、陽性反応適中度
回答方法	対象検診機関に対して、精度管理指標数値の提出を依頼。
評価方法	厚生労働省報告書「がん検診事業のあり方について(令和5年6月)」に沿った評価基準に今年度から変更。(資料2-3)

② 調査結果

- ・ 資料 2-2 に結果を検診機関別に示しております。
- ・ 精検受診率90%未満の集団検診機関は、社会医療法人社団高野会大腸肛門病センター高野病院でした。

③ 精検受診率 90%に達していない理由とその改善に向けた取り組みについて

- ・ 精検診率 90%以下の検診機関には改善を促すための通知をし、その理由と改善方法を報告していただきました。(資料 2-2 参照)

6. 今後の課題と方針

(1) がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査

- ・ 評価「B」以下の検診機関はありませんでしたが、引き続き状況を確認していきたいと考えております。

(2) 精度管理指標数値（プロセス指標）の調査（令和5年度実施分）

- ・ 集団検診機関に対して、精度管理指標（要精検率・精検受診率・精検未受診率・精検未把握率・がん発見率・陽性反応適中度）を調査していますが、1検診機関の受診者数が少ない場合は、この指標を単年度で評価するには限界があります。引き続き、評価の手法について検討を重ねていく予定です。

【調査対象検診機関一覧】

1 医療法人宮崎博愛会 さがら病院宮崎
2 公益財団法人福岡労働衛生研究所
3 公益財団法人宮崎県健康づくり協会
4 社会医療法人社団高野会大腸肛門病センター高野病院
5 日本赤十字社 熊本健康管理センター

1.チェックリスト遵守状況

※検診機関名は略称を記載しています。

	検診機関名	実施 項目数	非実施 項目数	実施率	評価	
					R7年度	R6年度
1	さがら病院宮崎	29	0	100%	A	A
2	福岡労働衛生研究所	25	0	100%	A	A
3	宮崎県健康づくり協会	29	0	100%	A	A
4	高野病院	25	0	100%	A	A
5	日赤熊本健康管理センター	25	0	100%	A	A

※福岡労働衛生研究所、高野病院、日赤熊本健康管理センターは(9)～(12)の回答不要4項目含む(医師立会いの下で撮影している場合、医師が撮影している場合、病院や診療所が会場に指定されている場合は回答不要)

2.チェックリスト遵守状況評価:前年度比較

評価	R7年度		R6年度	
	検診機関数	割合	検診機関数	割合
A	5	100.0%	5	100.0%
B	0	0.0%	0	0.0%
C	0	0.0%	0	0.0%
D	0	0.0%	0	0.0%
Z	0	0.0%	0	0.0%
	5		5	

がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査
乳がん検診機関調査票（令和7年度）/集団検診機関対象

※検診機関は略称を掲載。正式名称は、対象機関一覧をご確認ください。

	さがら 病院	福岡 労衛研	健康づくり 協会	高野 病院	日赤 熊本
1. 対象者への説明					
解説：					
① 下記の6項目を記載した資料を、検診機関に来場した対象者全員に、受診前に個別に配布されたかをお答えください。（ポスターや問診票など持ち帰れない資料や、口頭説明のみは不適切です。）					
② 受診時に貴施設で配布された場合、あるいは、貴施設以外（自治体等）が受診勧奨時に配布された場合※のどちらでも○です。 ※あらかじめ資料内容を確認し、下記の6項目が含まれている場合は○と回答してください。					
(1) 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを説明しましたか	○	○	○	○	○
(2) 精密検査の方法について説明しましたか(精密検査はマンモグラフィの追加撮影や超音波検査、穿刺吸引細胞診や針生検等により行うこと、及びこれらの検査の概要など)	○	○	○	○	○
(3) 精密検査結果は市区町村等へ報告すること、また他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、検診機関がその結果を共有することを説明しましたか※ ※精密検査結果は、個人の同意がなくても、市区町村や検診機関に対して提供可能（個人情報保護法の例外事項として認められています）	○	○	○	○	○
(4) 検診の有効性（マンモグラフィ検診には死亡率減少効果があること）に加えて、がん検診で必ずがんを見つけれられるわけではないこと（偽陰性）、がんがなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合もあること（偽陽性）など、がん検診の不利益について説明しましたか	○	○	○	○	○
(5) 検診間隔は2年に1回であり、受診の継続が重要であること、プレスト・アウェアネス（乳房を意識する生活習慣）の重要性、症状がある場合は速やかに医療機関を受診することの重要性について説明しましたか	○	○	○	○	○
(6) 乳がんがわが国の女性におけるがん死亡の上位に位置することを説明しましたか	○	○	○	○	○
2. 質問(問診)及び撮影の精度管理					
(1) 検診項目は、質問(医師が自ら行う場合は問診)及び乳房エックス線検査(マンモグラフィ)としましたか※ ※視触診は推奨しないが、仮に実施する場合は、マンモグラフィと併せて実施してください。	○	○	○	○	○
(2) 質問(問診)記録は少なくとも5年間は保存していますか	○	○	○	○	○
(3) 質問(問診)では現在の症状、月経及び妊娠等に関する事項を必ず聴取し、かつ既往歴、家族歴、過去の検診の受診状況、マンモグラフィの実施可否に係る事項等を聴取しましたか※ ※質問は必ずしも対面による聴取で実施する必要はなく、受診者に自記式の質問用紙を記載させることをもって代えることができる。	○	○	○	○	○
(4) 乳房エックス線装置の種類を仕様書※に明記し、日本医学放射線学会の定める仕様基準 ^{注1} を満たしていましたか ※仕様書とは委託元市区町村との契約時に提出する書類のことを指します（仕様書以外でも何らかの形で委託元市区町村に報告していればよい）。 ※※貴施設（もしくは医師会等）が仕様書に明記した仕様基準が学会の方針に準じており、かつ、貴施設が仕様書内容を遵守している場合に○と回答してください。	○	○	○	○	○
(5) マンモグラフィに係る必要な機器及び設備を整備するとともに、機器の日常点検等の管理体制を整備しましたか	○	○	○	○	○
(6) 両側乳房について内外斜位方向撮影を行っていますか。また40歳以上50歳未満の受診者に対しては、内外斜位方向・頭尾方向の2方向を撮影していましたか	○	○	○	○	○
(7) 乳房エックス線撮影における線量及び写真またはモニタの画質について、日本乳がん検診精度管理中央機構(旧マンモグラフィ検診精度管理中央委員会)の行う施設画像評価を受け、AまたはBの評価を受けていますか※ ※評価CまたはD、施設画像評価を受けていない場合は至急改善すること。	○	○	○	○	○
(8) 撮影を行う診療放射線技師、医師は、乳房エックス線撮影、読影及び精度管理に関する基本講習プログラムに準じた講習会 ^{注2} を修了し、その評価試験でAまたはBの評価を受けていますか※ ※上記の評価試験で、CまたはD評価、講習会未受講の場合は至急改善すること。	○	○	○	○	○
(9) 事前に乳房エックス線撮影を行う診療放射線技師に対して指示をする責任医師及び緊急時や必要時に対応する医師などを明示した計画書を作成し、市区町村に提出しましたか。 医師立ち合いの下で撮影している場合や、医師が撮影している場合は回答不要です。回答欄にハイフン(-)を入力してください（空欄にしないでください）。	○	-	○	-	-
(10) 緊急時や必要時に医師に連絡できる体制を整備しましたか。 医師立ち合いの下で撮影している場合や、医師が撮影している場合は回答不要です。回答欄にハイフン(-)を入力してください（空欄にしないでください）。	○	-	○	-	-
(11) 乳房エックス線写真撮影時や緊急時のマニュアルを整備しましたか。 医師立ち合いの下で撮影している場合や、医師が撮影している場合は回答不要です。回答欄にハイフン(-)を入力してください（空欄にしないでください）。	○	-	○	-	-

がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査
乳がん検診機関調査票（令和7年度）/集団検診機関対象

※検診機関は略称を掲載。正式名称は、対象機関一覧をご確認ください。

	さがら 病院	福岡 労衛研	健康づくり 協会	高野 病院	日赤 熊本
(12) 検診に従事する診療放射線技師が必要な教育・研修を受ける機会を確保しましたか。 医師立ち合いの下で撮影している場合や、医師が撮影している場合は回答不要です。回答欄にハイフン (-) を入力してください（空欄にしないでください）。	○	-	○	-	-
3. 乳房エックス線読影の精度管理					
解説：二重読影と比較読影（1）～（2）について ① 外部（地域の読影委員会等）に読影を委託している場合は、委託先の状況を確認して回答してください。 ② 自治体・医師会等が外注先施設を指定しており、自治体・医師会等が本調査の回答を指定している場合は、それに従って回答してください。					
(1) 読影は二重読影を行い、読影に従事する医師のうち少なくとも一人は乳房エックス線写真読影に関する適切な講習会 ^{注2} を修了し、その評価試験でAまたはBの評価を受けていますか※ ※上記の評価試験でCまたはD評価、講習会未受講の場合は至急改善すること。	○	○	○	○	○
(2) 二重読影の所見に応じて、過去に撮影した乳房エックス線写真と比較読影しましたか	○	○	○	○	○
(3) 乳房エックス線画像は少なくとも5年間は保存していますか	○	○	○	○	○
(4) 検診結果は少なくとも5年間は保存していますか	○	○	○	○	○
4. システムとしての精度管理 (地域保健・健康増進事業報告、およびプロセス指標値の解説は別紙解説資料をご参照ください)					
(1) 受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内※になされましたか ※市区町村を介して受診者に結果を通知する場合は、市区町村に遅くとも4週間以内に通知していれば○です。	○	○	○	○	○
(2) がん検診の結果及びそれに関わる情報※について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しましたか ※地域保健・健康増進事業報告(注3)に必要な情報を指します。	○	○	○	○	○
(3) 精密検査方法、精密検査結果及び最終病理結果・病期※について、市区町村や医師会から求められた項目の積極的な把握に努めましたか ※地域保健・健康増進事業報告(注3)に必要な情報を指します。	○	○	○	○	○
(4) 撮影や読影向上のための検討会や委員会（自施設以外の乳がん専門家※を交えた会）を設置しているか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した検討会や委員会に参加しましたか ※当該検診機関に雇用されていない乳がん検診専門家を指します。	○	○	○	○	○
(5) 自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握しましたか※ ※・本調査では令和5年度のプロセス指標値について回答してください。 ・貴施設単独で算出できない指標値は、自治体等と連携して把握してください。また自治体等が集計した指標値を後から把握することも可です。	○	○	○	○	○
(6) プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行いましたか	○	○	○	○	○
(7) 都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めましたか	○	○	○	○	○
遵守項目数	29	25	29	25	25
非遵守項目数	0	0	0	0	0

評価	さがら 病院	福岡 労衛研	健康づくり 協会	高野 病院	日赤 熊本
	A	A	A	A	A

注1 乳がん検診に用いるエックス線装置の仕様基準：マンモグラフィによる乳がん検診の手引き第7版増補版、マンモグラフィガイドライン第4版増補版参照

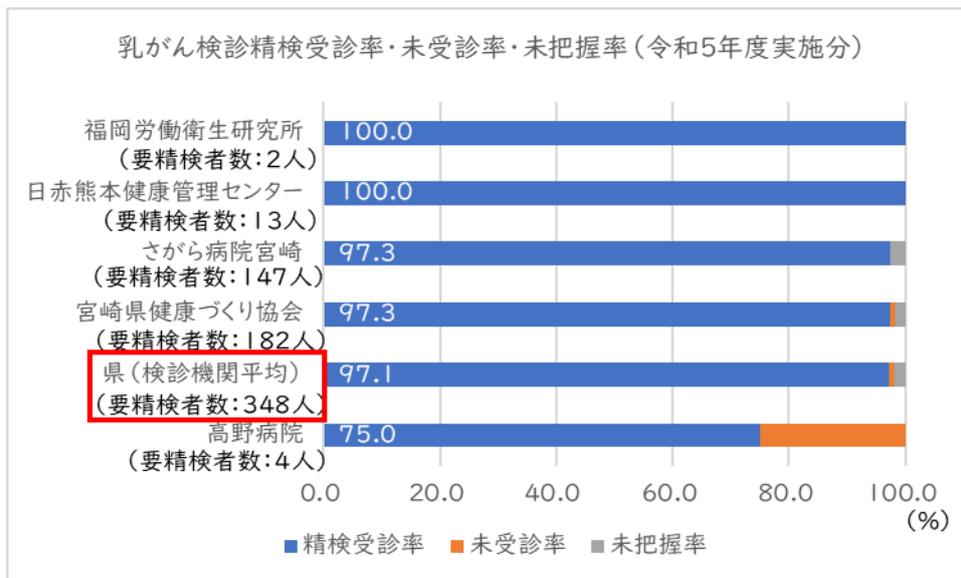
注2 乳房エックス線撮影、読影及び精度管理に関する基本講習プログラムに準じた講習会

基本講習プログラムに準じた講習会とは、日本乳がん検診精度管理中央機構(旧マンモグラフィ検診精度管理中央委員会)の教育・研修委員会の行う講習会等を指す

なお、これまで実施された「マンモグラフィ検診の実施と精度向上に関する調査研究」班、「マンモグラフィによる乳がん検診の推進と精度向上に関する調査研究」班、及び日本放射線技術学会乳房撮影ガイドライン・精度管理普及班による講習会等を含む

注3 地域保健・健康増進事業報告：全国の保健所及び市区町村は、毎年1回国にがん検診の結果を報告します。この報告書では、受診者数、要精検者数、精検受診者数、発見者数等を性・年齢階級/受診歴別に報告することになっており、国や地域の保健施策上、大変重要な基礎資料となります。

1. 乳がん検診精検受診率・精検未受診率・精検未把握率（令和5年度実施分）



2. 精検受診率：昨年度との比較

※要精検率0%（要精検者が0人の場合）

精検受診率	R7年度評価 (対象：R5年度)		R6年度評価 (対象：R4年度)	
	検診機関数	割合	検診機関数	割合
100%	2	40.0%	2	40.0%
90～99%	2	40.0%	3	60.0%
80～89%	0	0.0%	0	0.0%
～79%	1	20.0%	0	0.0%
要精検率0%※	0	0.0%	0	0.0%
	5		5	
県平均精検受診率	97.1%		96.2%	

3. 精検受診率基準値未達成理由と今後の改善方法について

【検診機関】：社会医療法人社団高野会 大腸肛門病センター高野病院

精検受診率の基準を満たしていない理由	要精検者対象4名の内1名が、3カ月、6ヶ月後の受診勧奨では、問い合わせ中のままで、返答の確認ができていなかった。未受診者は至急医療対象者であった為、電話による連絡も行なっていたが、未受診のままだった。
今後の改善方法	6ヶ月のフォローアップ時点で、未把握者・未受診者情報を行政と共有し、電話やSNSなどを利用し年度末までに未把握率が少なくなるような体制作りをする。また、翌年度受診時本人に再度前年度勧奨を行なう（自費受診の場合があるため）⇒次年度勧奨し受診済み

乳がん検診結果（令和5年度実施分）

※検診機関は略称を掲載。正式名称は、対象機関一覧をご確認ください。

	受診者数 A	検診結果			精密検査受診の有無別人数						要精検率 D/A (%)	精検受診率 E/D (%)	がん発見率 F/A (%)	早期がんの割合 G/F (%)	陽性反応適中度 F/D (%)	精検未受診率 + 未把握率 (%)	精検未受診率 H/D (%)	精検未把握率 I/D (%)
		精検不要 B	要経過観察 C	要精検（Ⅱ要精検者数） D	精検受診者数 E	精密検査結果（がんのみ）		未受診者数 H	未把握者数 I									
						い（乳がんのうちに転移性を含まない） F	早乳がんのうち G											
さから病院	7,039	6,594	298	147	143	33	26	0	4	2.1	97.3	0.47	78.8	22.4	2.7	0.0	2.7	
福岡労衛研	70	68	0	2	2	0	0	0	0	2.9	100.0	0.00	-	0.0	0.0	0.0	0.0	
健康づくり協会	5,011	4,829	0	182	177	30	24	2	3	3.6	97.3	0.60	80.0	16.5	2.7	1.1	1.6	
高野病院	72	66	2	4	3	0	0	1	0	5.6	75.0	0.00	-	0.0	25.0	25.0	0.0	
日赤熊本	437	387	37	13	13	2	1	0	0	3.0	100.0	0.46	50.0	15.4	0.0	0.0	0.0	
計	12,629	11,944	337	348	338	65	51	3	7	2.8	97.1	0.51	78.5	18.7	2.9	0.9	2.0	

※1 本集計は、令和7年度に市町村から健康増進事業として委託された集団検診機関を対象としている。

※2 ※1のうち令和5年度に市町村から健康増進事業として委託された集団検診機関の乳がん検診（マンモグラフィ検査及びマンモグラフィ検査＋乳房超音波検査）における40-74歳を対象とした結果である。

※3 欠損値“-（ハイフン）”について：次の①～②の場合、数値を“-”と表記した。①受診者数が0人の場合は、すべての指標値を“-”とした。②要精検者数が0人の場合（要精検率＝0%）、要精検率以外の指標値は“-”とした。

【検診機関 評価基準】

●がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査評価基準について

評価	非実施項目数	評価内容
A	0	チェックリストをすべて満たしている
B	1～6	チェックリストを一部満たしていない
C	7～12	チェックリストを相当程度満たしていない
D	13以上	チェックリストを大きく逸脱している
Z	無回答	調書に対して回答がない

・評価基準は、国立がん研究センターがん対策情報センター 生活習慣病検診管理指導協議会（各がん部会）による制度管理の雛型集「精度管理ツール（雛型集）平成28年度版」を準用しています。乳がんのみ令和4年3月の検診機関チェックリストを反映しております。

●精度管理指標数値について

1. 算出方法

- 厚生労働省委員会報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について（平成20年3月）」
『別添4 がん検診の事業評価における主要指標について』の定義に基づき算出しました。

指標	算出方法	対象年齢
要 精 検 率	要精検者数 / 受診者数 × 100 (%)	乳がん検診:40-74歳
精 検 受 診 率	精検受診者数 / 要精検者数 × 100 (%) 精検受診者数 = 要精検者数 - 精検未把握者数 - 精検未受診者数	
精 検 未 受 診 率	精検未受診者数 / 要精検者数 × 100 (%)	
精 検 未 把 握 率	精検未把握者数 / 要精検者数 × 100 (%)	
が ん 発 見 率	がんであった者の数 / 検診受診者数 × 100 (%)	
陽 性 反 応 適 中 度	がんであった者の数 / 要精検者数 × 100 (%)	

2. 基準値

	対象年齢	受診率 目標値 ※1	プロセス指標基準値※2					
			対象年齢	要精検率	精検受診率	精検未受診率 +未把握率	がん発見率	陽性反応 適中度
乳 が ん	40-69歳	60%以上	40-74歳	6.5%以下	90%以上	10%未満	0.40%以上	6.1%以上

※1 第4期がん対策推進基本計画（令和5年3月）で示された国民生活基礎調査によるがん検診受診率の目標値

※2 厚生労働省 がん検診のあり方に関する検討会報告書「がん検診事業のあり方について（令和5年6月）」別添6より
上記は標準的な性・年齢階級に基づき「上限74歳」、「男女計」、「受診歴計（初回・非初回計）」、胃がん（X線）・乳がん・子宮
頸がんでは「検診間隔2年」、肺がんでは「検診以外の肺に関する検査の受診なし」について算出された基準値

（参考）過去の指標値

	対象年齢	受診率 目標値	プロセス指標値						
			対象年齢	要精検率	精検受診率	精検未受診率	精検未把握率	がん発見率	陽性反応 適中度
乳 が ん	40-69歳	50%以上	40-74歳	11.0%以下	80%以上	10%以下	10%以下	0.23%以上	2.5%以上